

小海高、介護職学ぶ交流協定 佐久大信州短大と結ぶ

佐久大信州短期大学部（佐久市）と小海高校（小海町）は19日、学生や生徒の交流や活動での連携を図る協定を結んだ。高校側は医療・福祉系への進学が多い生徒の学びや進路選択につなげ、短大側は交流を通して介護職の楽しさ



協定を結び握手をする土屋校長（左）と堀内学長

を受けたいと話していた。小海高の土屋茂夫校長は「生徒が学ぶ場が格段に広がる。学生と交流することで刺激を受けてほしい」と話していた。

「介護の楽しさやプロ意識の高さを生徒に知ってもらい進路選択に役立ててほしい」。

佐久大の堀内ふき学長は「介護の楽しさやプロ意識の高さを生徒に知ってもらい進路選択に役立ててほしい」。

小海高校で開いた調印式には両校から計10人が参加。今後、短大部の教員が高校へ出て授業を行うことや、生徒が短大部の授業を受けるといった交流を検討している。

協定締結を決めた。

小海高校で開いた調印式には両校から計10人が参加。今後、短大部の教員が高校へ出て授業を行うことや、生徒が短大部の授業を受けるといった交流を検討している。

などを伝える狙い。協定は同日からで、期間は3年間。